

保育園の自己評価を終えて

園の自己評価は昨年同様小グループに分かれ約 1 か月間かけ評価をしたものをまとめ、園の評価としました。

今年度は「それぞれの職種の専門性を活かし、誠実かつ丁寧な保育」を全職員が心がけ職務にあたり、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりや成長にあった遊びや食事の提供について年間を通して振り返りを行ってきました。

丁寧な保育を行ううえで、行事準備や記録業務に多くの時間を要し、日常保育との両立に課題が残ったことから、業務の効率化や役割分担の見直しが必要であると感じました。

次年度は、これらの課題を踏まえて業務の効率化を図り、子どもと向き合う時間をさらに確保しながら、より丁寧で温かい関わりを深め、子どもたちの成長を一層支えていきたいと思います。

<今後に向けて>

- ・ ICT 化を進め記録業務を効率化し、子どもと向き合う時間を確保するとともに一人ひとりの成長をより丁寧に見守り、保育の質を高めていく。
- ・ 子どもたちが安心してのびのびと過ごせる保育環境を整える。
- ・ 外部研修だけではなく、内部研修の充実も図り、保育の質の維持・向上に努める。

令和 8 年 2 月 16 日

横浜みなとみらい保育園 園長 木下かおり